

赤羽 亨

いい自分も嫌な自分も すべてが私なのです



いのちをはかる

南無阿弥陀仏の「阿弥陀」とは無量とか無限という意味だそう。如来さまの「寿」は無量といわれます。量るといって、自分が不可能な世界がいのちそのものです。私のいのちは生まれて死する限りあるものですが、その長さは予測できません。人間は無量のいのちを賜わって生きていくのに、我々は計らいを尽くして計量する智慧を競うばかりです。しかし、実は量るうとして量れない無量の世界に生かされているのです。その無量の世界に帰命し、南無せよとよびかておられるのが如来の本願であります。

自体満足

人間というのは間柄を生きる者です。自他

のつながり存在なのに、根っ子は自分中心です。「自己チュー」です。ですから、自分の思い通りになれば満足する。自己満足です。みんな自分だけが満足したい。他人は見えないのです。見えてもいつもその人と比べて、優越感にひたり有頂天になるか、劣等感に苦しむかです。ところが仏様の世界は自己満足ではなくて、自体満足といえます。それ自体で、人と比べないで満足できるのです。自分がいまここに生きていくということ自体に満足できる。人と比べる心から超越した人になるということです。ですから、自分の生きていることがそのまま人のためになる。人のためになるということがそのまま自分の喜びになる。そういう世界を生きている人を仏様といえます。

しかし私達はいつも人と比べていますから比較する心(慢)から解放されない。ですから、自分の人生に満足できなまま終わることに。もう一度自分に問い直してみる必要がある。何十年も生きてきて色々な苦しみや悲しみがあったのでありましょう。「痛い思いや悲しい思いをしてきたけれど、自分は自分で良かった」といつか自分の生涯を全うして生きることが出来るかどうか、つまり、自体満足という仏様になる課題を持っているのは人間だけ。人間には誰でも、好きになれる自分と、ど

うしても好きになれない自分と二つあるのではないのでしょうか。自分が思い通りになるような自分なら認めることができる。「ああ、俺も捨てたものじゃないな」と思う。別の人と比べて「劣っているな」と思うと嫌になります。そんな自分は受けとめられない。やっぱり嫌な自分は人に見せたくないのです。自分でも見たがりありません。しかし、それはやはり本当ではありません。どこかでまかしてしまいます。「お前はまかしているよ」と教えてくれるもの、それが仏様なのです。仏の教えに遇わないと自分まかしていることが解らないのです。

それで、思い通りになるような人生が幸せであって、自分の思い通りにならない自分の人生は「こんな不幸はない」と思う。自分の思い通りになるかならないかだけで自分の人生全部を量ってしまう。しかし、それだけが人間が生きていく本当の楽しみであり、喜びであり、満足であるかというところでよいのではないのでしょうか。「人間に生まれてきてやほり良かったなあ」と言えるような生涯を送りたいと、私もあなたも誰でも思っているに違いありません。

凡夫

親鸞聖人は、仏様の教えに遇ってみると人間は、いつも人と自分を秤にかけてどっちが重いのか、善か悪か、損か得かを量っている凡夫だと言われています。それが煩惱具足の凡夫という浄土真宗の人間観でしょう。そういう凡夫の物差しが自分では捨てられないのです。捨てられないけれど凡夫の物差しが本当だとは言えない。そのことに気が付くと南無阿弥陀仏からよびかけられているのです。

凡夫という言葉を使っている時は、「どうせ凡夫なんだから仏様の話を聞いてもなかなか解りません。それとおりになれませんか」と自分の弁解に使います。人間はみんな善悪の凡夫だから当然だと。自己弁解をするのです。「人間だから、凡夫だから仕方がない」と

赤羽別院報 第18号
発行日：2009年(平成21年)3月1日
発行所：真宗大谷派 赤羽別院 親鸞寺
発行人：浅野 悦
愛知県稲垣郡一色町赤羽上郷中14
Tel.Fax. (0563) 72-2308
印刷：株式会社コーセー社

■講師紹介
二階堂行邦 師(にかいどう) ゆきくに
一九三〇(昭和五年) 東京都生まれ
東京教区 専福寺前住職
大谷大学文学部卒
著書
「いのちを生きる」
「自分が自分になる」
ともに本願寺出版部など

信じる
言いますが、本来凡夫という言葉は仏様から見た言葉です。仏様からの呼びかけの「あなたはまだに凡夫です」という言葉に、その通りだと受け止めることを信心ということです。

ところが実は、本当に仏様を信じるということは、自分で自分を信じることもできるか、自分で自分のまると認めることができるかどうかということ。いい自分も嫌な自分も、全部ひくるめて私なのです。そのように自分を受け止めることができるかどうかが肝心です。仏様の言うことを信じられるということは、まさに凡夫である私を、阿弥陀様がまると受け入れて下さっていることを信ずることです。そのことは、またそのまの自分を自分が受け入れることができることです。それだけで。事実凡夫であるの思いは凡夫になれないのです。そういう思いが実は仏様に背いていることなのです。

念仏の教えを聞いて

自分が念仏の教えを聞いて念仏を称えれば、嫌な自分は念仏が消してくれ、いい自分だけが自分に身に付くような、そういう世界が念仏という他力の世界にあるのではないかと。そういう思いに駆られるのです。しかし、それも実は幻想の救いなのです。

どうしても自分の嫌なところを認められない自分がいます。それに対して、「汝は是れ凡夫なり」と。その仏様の呼びかけが南無阿弥陀仏です。そのよびかけを聞くことができるかどうかその二点なのです。「どうにかなるよ」に念仏申すのではなく、浄土に生まれるために念仏申すのではなく、念仏申せば浄土の道が定まるのです」と言われた正親合英師のお言葉が憶われてなりません。

別院行事日程

春季彼岸会(午後1時)
3月19日(木)第8組 専念寺 羽向智洋師
20日(金)第12組 了願寺 藤谷信雄師
21日(土)第10組 嚴西寺 藤原 肇師

報徳会(本山 鍵役 御参修)
4月11日(土)
午前10時 始経
午前11時 帰敬式
午後1時 始経
法話(午前午後)
第8組 福正寺 本多良友師

教区公開講演会
4月17日(金)午後2時
京都市 正念寺 川村妙慶師

真宗講座
講師 「報恩講和讃に聞く」
3月6日(金)午後2時
4月23日(木)午後2時
桑名市 西恩寺 池田勇諦師

殉教記念法要(本山 鍵役 御参修)
主催 殉教記念会
6月5日(金)午後1時
法話 講師未定

晨朝法話(午前7時)
4月13日(月)第14組 照光寺 牧野 保師
28日(火) 應春寺 大塚順応師
5月13日(水)第8組 宿縁寺 織田慶雄師
28日(木) 専念寺 羽向智洋師
6月13日(土)第9組 源徳寺 藤原知貴師
28日(日) 正向寺 大溪正明師

人間模様

昨年、弱冠十九歳の青年が帰敬式を受けた。混迷する世の中で、若者のこの行動は称賛に値する。何よりも素晴らしいのは、このことが現在の生活のなかに生かされていることです。この青年、石川卓さんを尋ねました。

—19歳という若さで帰敬式を受けられた訳ですがその動機は？

石川 僕は西尾市でボーイスカウトに所属しているのですが、その中でリーダーになるためには「宗教章」という資格を取る必要がありました。そこで我が家の宗旨である浄土真宗の教えを学ぶために、手次寺院である願正寺さんに通うようになりました。寺で住職さんから、宗祖親鸞聖人や蓮如上人の教えや宗門の歩みを向う中で帰敬式のことを聞き、折角のご縁であると思いつきました。

石川 自分で普段の生活の中で発言や行動をする時に、良し悪しの判断をこれまで以上にするようになりました。また、お寺に関心を持つようになり、今では、手次寺院の願正寺さんの行事に参加したり、時間がある時には境内の掃除をしています。



—帰敬式を受けた時の感想は？

石川 まず、殆どの方が私の祖父母と同じくらいの年齢で、若い人がいないことに驚きました。儀式は大変厳粛に行われ、とても緊張しました。特に、お髪剃りをしていたときは、これまでに味わったことのない程身の引き締まる思いをしました。

石川 卓さん
西尾市若松町 在住
法名 釈 卓明 (たくみょう)
平成20年4月に赤羽別院において帰敬式を受ける。

門徒の声

赤羽別院に想う

〈赤羽別院の沿革〉
十五世紀中頃、本願寺八代蓮如上人により「念仏道場」が開設されたが、いつの頃から衰退し廃絶
元禄十三年(一七〇〇)岡崎上六名村出身の幕府御家人本目勝左衛門尉親宣が「本目山親宣寺」を建立
寛政十年(一七九八)東本願寺の別院に昇格文政七年(一八二四)巨大な本堂に建替
昭和十三年(一九三八)別院の近くに居住する杉浦米吉翁の寄進により、今も威容を示す山門を建立
昭和三十四年(一九五九)伊勢湾台風により本堂が倒壊(基礎石が現存)
平成七年(一九九五)念願叶って現在の「お御堂」と書院を再建

このような歴史を辿り今日に至っているが、往時には門前に市をなし「赤羽のご坊さん」と親しまれ、西三河真宗門徒の信仰の拠点として崇められていました。

戦後、世界に誇る高度経済成長のなかで、家族制度の崩壊等により、若年層を中心に寺はなれ現象が生じていますが、門信徒がそれぞれの手次寺院や赤羽別院で、法義にふれる仏縁を数多く持つことにより、寺と門信徒が深い絆をとりもどし、赤羽のご坊さんが、再びこの地方の「開法の大道場」となることを切に願うものであります。

南無阿弥陀仏
石川 満英
第十組 永覚寺門徒



Noel
フランス料理
アット・ホームな雰囲気の中で、フランス料理をいかがですか？
記念日・披露宴・パーティー・ご法要等にもご利用ください。
アレンジフラワー教室などの楽しい企画も開催しております。
お気軽にご利用ください。 フランス厨房 ノエル
ご法要等のお食事は3,200円〜承ります。
西尾市花ノ木町5丁目1-1
0120-54-7767 月曜定休
http://www.noel-jp.net/

志(略) 朝岡 利行
ご(略) 朝岡 政行
新聞 市川 健一
赤羽御坊 市川 昇平
毛受 志治
正覚寺 毛受 志治
養林寺 毛受 志治
貴重なご志をありがとうございました

お内仏の前で南無阿弥陀仏とお念仏を称えるとき「お前はこういう生き方をしているのか、何を拠りどころにしているのか、仏様の教えを鏡にして自分自身を見つめよ」という声が聞こえてきます。



◆真宗の本尊阿彌陀如来は立ったお姿です。立ち上つて、今にも「歩踏み出そうとする姿は、苦悩の衆生を救わずにはいられないという大悲大願の行を表わしています。両手は親指と人差指で輪を作り、上げた右手は限りない智慧を、下げた左手は限りない慈悲を表し、この両手によつて、あらゆる人々を救い取つて捨てない摂取不捨の相を表します。四十八本の後光は阿彌陀如来の四十八願を表します。

◆お内仏の阿彌陀様のお姿は何を表しているのですか？

Yes! 高須クリニック
美容外科・形成外科・美容皮膚科・泌尿器科・歯科
院長 高須克弥
●年中無休 ●予約制
赤坂 地下鉄千代田線 赤坂駅6番A出口すぐ
〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館12F
TEL. 03-3587-2061 歯科直通 03-3583-9244
電話受付 9:30~22:00 0120-5587-15
歯科専用 10:00~19:00 0120-4180-86

まごころ込めておつくりします
総本家五代目 仏壇仏具 製造販売 洗い修理
吉崎礼二郎 仏壇 二店
千四四一〇四七 愛知県幡豆郡色町大字赤羽(別院前)
電話〇五五三二七七八五七七番